

p. 115のリスト1に誤りが2か所ありましたので、お詫びして訂正します。  
※CD-ROMに収録してある同名のソースリストが正しいものです。

-----  
⑨-1と似た処理を、⑨-1のすぐあとに追加しています。  
⑨-1はHTTP GETコマンドの「?L=」までを検出したときの処理です。  
追加部は「?L=」の無いHTTPコマンドを検出したときの処理です。

誤  
}  
if(len>6 && strcmp(s,"POST /",6)==0) {

正  
}else if (len>5 && strcmp(s,"GET /",5)==0) {  
break; // 解析処理の終了  
}else if(len>6 && strcmp(s,"POST /",6)==0) {

-----  
リスト1の⑩で示した計7行は、正しくは下記の1行のhtml関数1行です。

誤  
client.println("HTTP/1.0 200 OK");  
sprintf(s,"LED=%d",target);  
client.print("Content-Length: ");  
client.println(strlen(s)+2);  
client.println();  
client.println(s);  
Serial.println(s);

正  
html(client,target,WiFi.localIP());

この関数htmlの処理内容は、Arduino IDE上のソースリストのタブ[html]内に記載してあります。HTMLのコンテンツを記述したものとなります。  
引き数には、(5)の部分で生成したclientと、LEDの目標輝度target、本機のIPアドレスを渡します。

-----